



東中川

生野区内19地域の活動を順番に紹介します。

小路

地域福祉活動 ～住みよい東中川をめざして～

今回は地域福祉活動が継続して行われているということで見守り活動をしているボランティア委員の活動を紹介します。

小学6年生に“認知症キッズサポーター養成講座”と“声かけ体験”の実施。認知症予防へ向けた運動“コグニサイズ”は継続して行っています。自分が住む地域での暮らしをどうしていくか自分なら何が出来るかを課題におよそ2ヶ月に1回ボランティア委員会をしています。つながりのない人を知ってゆるやかな見守り活動をするために見守り相談室と連携を行い見守りメールの協力者にもなっています。

福祉に関する関係機関と地域の連携は欠かせないと思っています。なかなか見守りの担い手を広げることは難しいですが委員会で専門職へ繋げることを学んだりしていると委員の意識が向上してきています。これからも日頃のつながりがあってこそ見守り活動を続け住みよい東中川を目指していきたいと思っています。



認知症キッズサポーター養成講座



まち歩き声かけ体験 徘徊模擬訓練



コグニサイズ5期生

＜東中川地域社協広報編集委員＞

コロナ禍でも出来ることを!

—昨年2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大により、地域行事は休止と再開を繰り返す状態が続いています。小路地域では「みんながどこかでつながれる地域」を目指して、様々な世代が参加できる行事を開催していました。しかし思うように活動が出来ず、この前例のない状況の中でも何か出来ることはないかと模索していました。「まずは動くこと!」



ということで、会館を開けることから始めました。ステイホーム中に家で出来るものを提供できるように警察や消防署、環境事業局からクラフトをいただき、他にこども用おとな用の塗り絵や脳トレ、様々な機関からの情報チラシなどを並べ、いつでも立ち寄り、話が出来るようにしました。今は感染状況をみながら、ボランティアさんの協力のもと、対策を徹底して少しずつ開催できる行事から始めています。元通りの活動になるのは難しいかもしれませんが、「今できるつながり方」を地域で見つけながら、皆がつながり、安心して過ごせる地域を目指していきたいです。

＜小路地域社協広報編集委員＞

善意銀行

善意銀行は、区民の皆様や企業・団体の預託(寄付)をお受けして、地域福祉推進のための活動などに活かすことを目的とする事業です。「金銭」や「物品」の預託(寄付)など、皆さまの温かい善意の預託をお受けしています。

なお、善意銀行への預託(寄付)金は税法上の控除の対象になります。令和3年7月～12月に預託いただいた方は次のとおりです。(順不同・敬称略)

- ＜金銭預託＞1件
 - ・大阪東部ヤクルト販売株式会社
- ＜物品の預託＞5件
 - ・森下 律子 ・森下 雅三 ・田窪 弘政
 - ・匿名(2件)

問合せ 地域支援担当 TEL:06(6712)3101

北箕地域社協 高齢者食事サービスの様子

丹波産新米の預託をいただきました



区内にお住まいの方から「おいしいお米を食べてお元気になってください。」と、善意銀行に新米をご預託いただきました。農家の方が直接届けてくださったとれたての新米です。早速、地域(食事サービス・ふれあい喫茶)や団体に払出しをおこないました。

新米を使って食事を提供して下さるボランティアさんから「毎年、おいしいお米をいただきとても感謝しております。ありがとうございます!」との言葉をいただきました。

新米を使った「カレーライス」です。コロナ禍で会食ができませんが、地域の皆さんに取りに来ていただき元気な顔が見られました!



赤い羽根共同募金にご協力いただき、ありがとうございました。

共同募金は、住民のみなさまに身近な、地域福祉事業や社会福祉施設の整備、社会福祉団体やボランティア団体の活動支援などさまざまな事業を

支える資金となっています。

共同募金は誰もが参加できるボランティア活動です。

コロナ禍の中、生野区内の地域や社会福祉施設・社会福祉団体、関係機関のみなさまのご協力によりたくさんのご寄付がありました。ありがとうございました。共同募金は1年を通じて承っておりますので、詳しくは生野区社会福祉協議会までお気軽にお問合せください。